

広報

拓北・あいの里

題字 伊藤 昭

第 81 号

発行日 令和6年3月22日

発行 拓北・あいの里連合町内会

北区あいの里1条6丁目 拓北・あいの里まちづくりセンター
TEL 778-2355

発行責任者 拓北・あいの里連合町内会会長
長尾 由紀子

編集責任者 拓北・あいの里連合町内会広報部長
三谷 英男

拓北・あいの里新年交礼会
四年ぶりの開催！

拓北・あいの里連合町内会主催の新年交礼会が、1月8日(祝)午後4時から札幌サンプラザで開催されました。新型コロナの影響で令和3年から実施を見送ってききましたので実に4年ぶりの開催でした。

区社協事務局長をはじめ、地区の町内会及び各関係機関・団体、学校、企業等から97名の方々が参加されました。

長尾会長は挨拶の中で、昨年5月のコロナの5類移行を受け「人と緑が調和するやさしく支え合うまち拓北・あいの里」のキャッチフレーズを念頭に、コロナ以前の事業活動の再開と共に、新たな時代ニーズに向けた展開へ地域の

の協力の大切さを呼び掛けました。
来賓代表のご挨拶で、佐々木北区長からは、

①地域の祭りの再開等、元氣な拓北・あいの里が戻ってきたことを歓迎し、

②菅井貴子さんの講演会等、防災や見守り活動をはじめ、連町・社協・民児協三者連携のまちづくり活動を評価されました。

乾杯のご挨拶で、佐藤区社協事務局長は、関係団体が連携し、地域の見守り活動に繋がる福祉除雪の協力態勢を検討していることに

感謝を述べられました。その後、祝宴に移り、参加者の皆様は、和やかな雰囲気の中、楽しく交歓の時間を過ごしました。
予定の2時間はあっという間に過ぎ、石井市民部長からの、連町・社協・民児協三者の連携体制を反映した温かい雰囲気の新年交礼会への感謝と共に、活気溢れる令和6年の活動に期待するご挨拶の後、乾杯で会を締めました。

拓北・あいの里地区 令和5年度

主な活動

- 5月・連合町内会総会
 - ・高等支援学校との花植え
- 6月・拓北地域町内会連絡協議会総会
- 7月・第1回単位町内会会長会議
 - ・あいの里地区町内会長連絡協議会総会
 - ・樹林見学ミニツアー
 - ・避難所運営研修(東中)
 - ・あいの里商工振興祭り
 - ・拓北盆まつり
 - ・ごみの出し方出前講座等
- 9月・みんなで歩こう会
 - ・福祉除雪説明会
 - ・第5ブロック防災訓練
 - ・樹木下枝払いボランティア作業
- 10月・文化フェスタ
 - ・防災講演会(講師・菅井貴子氏)
 - ・第3ブロック防災訓練
 - ・第4ブロック防災訓練
 - ・ふれあいピクニック
 - ・各種団体意見交換会
- 11月・除雪連絡協議会
 - ・第2回単位町内会会長会議
 - ・第1・2ブロック防災見学会
- 令和6年
 - 1月・新年交礼会
 - ・たくあいキャンドルナイト
 - 2月・認知症対応事例検討会
 - ・臨時総会
 - 3月・第1・2ブロック冬季防災訓練



新年交礼会の様子

拓北・あいの里連合町内会 臨時総会開催!



2月17日(土)午後2時から
拓北・あいの里連合町内会
臨時総会が開かれました。

役員17名及び町内会代表
21名の出席、委任状提出17
名の計55名で、会則第11条
の総会成立要件を満たして
いることを確認。長尾会長
の挨拶の後、議長に南あいの
里町内会増田会長を選
出、議事録署名人にひまわ
り団地東町内会真鍋会長と
あいの里2条3丁目町内会
北川会長を選出し、議案審
議に入りました。

◆主な会則の改正

1 専門部の見直し

(1) 事業部を新設

環境の変化に伴う様々
な課題に対応。具体的に
は、事業、会議等の企画
運営、その他の特命事項
等を担います。

(2) 社会部と福祉部を

福祉を社会的な事業と
結びつけ、具体的には、
文化及び体育の振興、青
少年育成等の事業並びに
社会福祉事業及び社会福
祉協議会との連携等に對
応します。

(3) 防犯部と交通部を

暮らしの安全安心に関
わるもので、具体的に
は、防犯に関する事業の
推進及び防犯協会との連
携並びに交通安全等の啓
発推進等に対応します。

(4) 女性部の事業を

厚生部を設けて引き継ぐ
性別による体制(女性
部)や業務内容を見直

し、これまで女性部が
担ってきた健康増進及び
募金活動等に関すること
を厚生部を設け、引き継
ぎます。

(5) 新たな専門部体制

① 総務部

② 会計部

③ 事業部

④ 広報部

⑤ 社会福祉部

⑥ 環境部

⑦ 防災部

⑧ 防犯交通部

⑨ 厚生部

の9部体制となります。

2 役員選出方法の見直し

(1) 役員数の改正

① 会長 1名

② 副会長 若干名

③ 部長 9名

④ 副部長 若干名

⑤ 監事 2名

(2) 会長・副会長の選出方法

各ブロック選出の役員
候補者の中から、各ブ
ロック1名の選考委員か
らなる選考委員会で会長
及び副会長候補を選出
し、総会の承認を得る手
順は変わりません。

(3) 部長・監事の選出方法

各部長については四役
会の意見を踏まえ会長が
決定、監事については四
役会の意見を踏まえ会長
が選任します。

各部長については四役
会の意見を踏まえ会長が
決定、監事については四
役会の意見を踏まえ会長
が選任します。

(4) 欠員の場合の候補者選出

原則、欠員となった役
員の所属ブロック長が後
任候補者を選出し、四役
会の承認を得ます。

(5) ブロック間の調整対応

各ブロックにおける定
員の候補者選出が困難な
場合はブロック間で調整
の上、他ブロックから選
出することができま

(6) 各専門部に

副部長の配置が可能に
各部長が必要に応じ、
副部長候補者を選出し、
四役会の承認を得ます。

3 四役会の明文化

これまで定期総会・
臨時総会・役員会及び部
会に四役会を追加しま
す。

4 役員活動費の明文化

これまで予算案に計上
して承認されてきた役員
活動費を条項として追加
し、規程を設けます。

◆主な規程の改正

1 ブロック設置規程

(1) 役員定員数の改正

- 第1ブロック 2名↓2名
- 第2ブロック 4名↓3名
- 第3ブロック 5名↓3名
- 第4ブロック 5名↓3名
- 第5ブロック 4名↓3名

これら改正案について、
語句の追加・修正等の意見
がありました。それらを来
年度総会に向け検討するこ
とで、会則・規程の改正案
は全体として一括承認され
ました。

◆その他

(1) 各専門部から

① 総務部 会議行事日程案

② 広報部 広報第81号発行

③ 福祉部 認知症対応事例
検討会報告

④ 環境部 樹木検討委員会
等報告

⑤ 防犯部 防犯注意情報

⑥ 女性部 各種募金報告

⑦ まちづくりセンターから

⑧ 拓北・あいの里地区の

世帯数・人口現況報告

「北海道医療大学」 移転に伴う対応について



令和5年9月23日、北海道医療大学（当別町）が2028年度に北広島市へ

移転し、あいの里にある大学病院についても移転するとの報道がありました。その後、10月10日には、大学・北広島市・ボールパーク運営会社の三者間で、移転の基本合意に至りました。

大学病院については、専門的な診療科をはじめ多種多様な診療科があり、子どもからお年寄りまで多くの地域住民が利用しています。また、隣接する地域包括ケアセンターも大学病院と連携した在宅ケアの拠点となっており、安心して在宅での医療や介護を続ける

ための役割を担っている重要な施設です。

大学病院や地域包括ケアセンターが移転した場合に、地域に及ぼす影響は計り知れないことから、連合町内会では対応を協議し、連合町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員・児童委員協議会会長の三者連名で、大学理事長あてに「北海道医療大学病院及び地域包括ケアセンターの存続について」の要望書を10月27日に提出しました。

要望として、これまで大学病院などと一体となり「人と緑が調和するやさしく支え合うまち」を目指し、一緒に築き上げてきたことを踏まえ、移転の再考とともに丁寧な説明を求めました。

また、長尾連合町内会会長から、札幌市の秋元市長や佐々木北区長に対して、大学病院等の存続について協力と支援をお願いしました。

その後、連合町内会の役員が新聞の取材に対し、地域にとって大学病院等の施

設が必要であることを訴えるとともに、大学病院とも意見交換を重ねてきました。

令和6年2月17日には連合町内会臨時総会において、北海道医療大学三浦医療管理部長から、現状の説明がありました。大学の移転の背景としては18歳人口の減少があり、通学の利便性や苫小牧方面からの学生の確保も考えて移転すること。札幌市からも地域住民が困らないように病院等の機能の維持・継続について検討を行うよう要望があったこと。地域として必要な施設であることは理解しており、要望については大学法人に伝えていること。現在これらを踏まえて移転方針を検討しており、また次回次第、あらためて説明したいとの話がありました。

今後も連合町内会や関係団体が一丸となって、札幌市などとも連携しながら、医療大学に対し、随時丁寧な説明を求めるとともに、病院や地域包括ケアセンターの機能の存続・継続について強く要望していきます。

女性部 活動の紹介

★研修交流会

9月28日（木）、4年ぶりに研修交流会を実施し、17名が参加

して駒岡清掃工場を見学しました。一人一人が3R（リデュース・ごみを減らす。リサイクル・資源化する。）を意識して、ごみを減らすことが、温暖化の抑制にもつながることを学びました。工場では、巨大クレーンごみ焼却炉に運ばれる様子を見学。研修後は駒岡保養センターでゲームや歓談を通して交流を深めました。



研修交流会～職員の説明を受ける参加者

★勉強会

11月29日（水）、5年ぶりに勉強会を開催し、26名が参加して簡単に楽しい運動「ふまねつと」に挑戦しました。講師の介護予防センター茨戸・篠路職員の指導のもと、柵を踏まずに縦、横、斜めと移動しながら歌を歌ったり手拍子したりと楽しく運動しました。参加者の中には、バランスを崩したり、リズムに乗れなかったりする方もいて、見守る者もつい笑顔に。健康的で和やかな時間を過ごすことができました。



勉強会～皆さん真剣です

福祉除雪説明会開催!

「今後の協力体制を考える」



9月23日(祝)に今年度の福祉除雪の説明会が実施されました。区社協の事業説明後、町内会からの意見・要望や質疑を行い、区社協からは除雪を行っていただける協力員の募集協力を広く求められました。

札幌市の福祉除雪事業の歴史は除雪ボランティア事業としてスタートし、平成15年度から現制度で社協が受託して現在まで継続しています。

令和4年度の利用世帯数は全市で6、159世帯、北区1、051世帯、当地区では117世帯です。当地区における町内会でのペアリング実績では、87世帯の依頼に対し49世帯のペアリング(56・3%)にとどまっています。

そもそも福祉除雪は、高齢の方や障がいのある方が通院や買い物等の外出時に支障となる、道路に面した出入り口部分と玄関先までの通路部分(敷地内)の雪

を地域の協力員がかき分ける事業です。地域の支え合いとして行われており、見守りを含めた安否確認としても重要な事業です。

【具体的な除雪内容】

①道路に面した出入り口部分を概ね幅1.5m、敷地内は玄関先までの通路部分で歩行に支障のない80cm程度の幅を除雪します。

②実施時期は、令和5年12月1日から令和6年3月20日までです。

③除雪は札幌市の除雪車が入った日に行い、1日1回です。

④除雪作業は、道路除雪が行われた日のお昼の12時頃までに行い、利用者からの時間指定はできません。

【地域協力員の募集】

①除雪活動が可能な方であれば性別や年齢は問いません。個人、企業等どなたでも参加できます。

②協力をいただいた方には、活動終了後1世帯につき21,000円の協力員

活動費が支払われます。

【新たな取り組み】

近年ではご協力をいただける方が少なくなっている状況のほか、企業の除排雪事業からの撤退もあり、なかなか依頼者とのマッチングがうまくいっていないのが実情です。

そこでマンション町内会の方々にもお集まりいただき、ボランティアアグループを組んで除雪活動を行う提案もさせていただきました。

来年度以降も継続してこのような取り組みを行いますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



福祉除雪説明会の様子

各種表彰を 受賞された 皆様のご紹介

この地区から、様々な活動を通じて地域に貢献された方々が表彰されています。皆様、誠におめでとうございませう。

※紙面の都合上、恐れ入りますが抜粋となります。

◎札幌市安全で安心な

まちづくり功労者表彰

藤田 武次さん

(拓北防犯ひまわり隊長)

◎交通安全功労者知事表彰

佐々木 正一さん

(交通安全実践会副会長)

◎札幌市交通安全運動

推進委員会会長表彰

篠町 朝男さん

(交通安全実践会)

◎防火活動功労者表彰

中井 宣昭さん

(ひまわり団地東町内会
防火委員)

◎札幌市民生委員児童委員

永年勤続表彰

(15年) 川原田 和彦さん

加藤 隆治さん

(10年) 諸澤 龍子さん

(5年) 相坂 明美さん

(以上地区民児協)

各ブロックで防災訓練

令和5年度は全てのブロックで「防災訓練」が行われました。以下、(1)第5ブロック(2)第4ブロック(3)第3ブロック(4)第1・2ブロックの順に訓練や見学の内容等についてご紹介します。

(1) 第5ブロック(9/24)

あいの里東小学校を会場に7町内会・ケア施設町内会・協働福祉会等の協力のもと、90名の参加で実施されました。

今回特に意識したことは、訓練参加者が時間を持って余さないこと、今までに実施していないことに加えてマンネリ化を防ぐために、各町内会等の代表者を各班リーダーに配置しました。砂場を利用した土嚢作り



や炊き出しは新鮮味があや、防災避難訓練にふさわしいものでありました。

この地域で想定される災害が想像しにくいことを前提にした訓練の工夫が今後求められると考えます。

(2) 第4ブロック(10/1)

鴻城小学校を会場に参加者127名で実施され、避難所開設作業開始後、約1時間で避難を完了。結果、次のような様々な問題点が出されました。

①受付では、避難同行者待機場所が必要。受付は2列で4名程度必要。案内人は担当を分けて配置すべき等の意見が上がった。

②滞在スペースでは、すざらんテープは有効だった。町内会表示板はラミネート加工し



て複数個作成しておく。立ち入り禁止場所を確認しておく等の意見が上がった。③ペット対策、トイレ対策について検討の余地があると思われるので、今後複数年をかけて少しずつ進めていく予定です。

(3) 第3ブロック(10/22)

あいの里西小学校を会場にして実施されました。参加者は町内会毎に一時避難場所に集まり、9時に



体育館に全員到着し、避難所開設宣言の後、大雨や台風による想定災害と備えを動画で説明を受けました。

その後、参加者は9つの班に分かれ、心肺蘇生とAEDによる普通救命訓練、ダンボールベッドの組立訓練、札幌市防災協会の防災グッズ紹介展示を順番に回って訓練と説明を受けました。

コロナ禍の3年間は集合訓練を見送ったため、今回は基本的な内容に絞って行いましたが、参加者は楽しく取り組めた様子でした。

(4) 第1・2ブロック(11/21)

訓練に代えて合同で「札幌市民防災センター」の見学を行いました。小春日和となった当日、公共交通機関や自家用車で21名が現地に集い、全員で「災害バーチャル体験コーナー」に入りました。津波災害・土砂災害・都市型水害の映像コンテンツを3D映像と光や風によるリアルな演出を通して体験し、災害の怖さを知り、注意点を学びました。その後、4つのグループに分かれて「地震体験」「救急体験」「消火体験」「煙避難体験」「暴風



地震体験の様子

体験」などを行いました。うまく消火や煙避難ができずに終わったグループもあり、訓練の大切さを再確認する機会となりました。

また、2階には学習コーナーが新設され、火災・地震・風水害などの災害への備えについて様々な知識を学べるよう工夫がされました。

最後は、はしご車の前に集合して記念写真を撮り、帰路につきました。

2時間弱の見学でしたが、多くの学びがあり、貴重なひと時となりました。



参加者の集合写真

元日には能登半島地震が発生し多くの方が亡くなられました。ご冥福をお祈りしますとともに訓練と防災の備えの大切さを今一度心に留めたいものです。

2023年 みんなで歩こう会

9月9日(土)
4年ぶりに「みんな
で歩こう会」が
実施されました。

今回は、例年より一週間ほど早い開催で、今夏の猛暑の影響が心配でしたが、強い日差しや気温の事も配慮しながら予定通り行われました。最高齢参加者は86歳、最少参加者は10歳で、併せて57人が元気に歩きました。

開会式では、連合町内会長尾会長の挨拶、北区保健センター佐々木保健師から「無理をしないで楽しく歩きましょう」と説明



これから出発です

があり、準備体操後、出発しました。コースは、地区センターを発着点として、あいの里公園・あいの里緑道・せせらぎ緑道を通る周回コースです。(気温の影響もあり途中でシヨートカットしました。)



ウォーキングの様子

今回は、地区センターとの共催で、事前申し込みが可能になり、開催前に参加人数の把握ができました。久しぶりという事もあり、

参加者はやや少なくなりましたが、日常のウォーキングとは異なる「みんなで歩く」楽しさをアピールしながら次年度も計画を進めていきたいと考えています。

菅井貴子氏防災講演会

10月15日(日)、拓北・あいの里地区センターにおいて、連合町内会・地区センター共催で外部講師による防災講演会を開催しました。

講師として『UHBみんなの里』に出演中の気象予報士・防災士菅井貴子氏をお招きし、『北海道の天気が変わった！増える気象災害情報と知識は命を救う』と題したご講演をいただきました。

近年の記録的な豪雨による災害、冬期間の豪雪による災害等々について、事例をもとにやさしくわかりやすく解説していただきました。

また、当日会場にて講師の著書『菅井貴子と学ぶ北海道の天気と防災』の販売も行われました。

外部講師による講演会開催は初めての試みでしたが、190名のご参加をいただき防災活動に

対する意識の高さを感じられ意義ある講演会となりました。

講演後に講演会及び講演内容に関わるアンケートを実施しました。139名の提出があり、73%の方から「とても良かった・よく理解できた」との回答をいただきました。

今後は、参加者の声やアンケートの集計結果をもとに、定期的な講演会開催可否について協議・検討していきたいと考えています。今回参加していただいた皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



菅井氏防災講演会の様子

出前講座とスケルトン型ごみ収集車展示&積み込み体験

8月26日(土)に拓北ひまわり会館にて28名の参加により、ごみの出し方についての出前講座等を実施しました。

出前講座では、ごみの分類と出し方についての座学があり、その後、駐車場に移動し、スケルトン型ごみ収集車の性能や収集に際しての苦労話などが披露され、参加者に実際の積み込み体験をしていただきました。

スケルトン型ごみ収集車の値段等を聞くユニークな質問もありました。短い時間でしたが有意義な出前講座でした。



スケルトン車と積み込み体験の様子

第26回文化フェスタ開催

★ステージ発表会

拓北・あいの里地区センターの文化フェスタ・ステージ発表会は地域の人のつながりと交流促進を目的に毎年開催してきましたが、コロナのために中止を余儀なくされてきました。

4年ぶりとなった今年度はコロナが5類になったこともあり、規模を縮小し

時間も短縮して10月14日(土)に開催しました。ステージ発表会を待ち望んでいた多くの観客が開催時刻前から押し寄せ、大変な賑わいとなりました。

まず始めにサッポロ・インディゴ・ウインズが盛大に吹奏楽演奏を行い、そのあと体操・オカリナ演奏・カラオケ・朗読など多彩な演目で各サークルの日頃の成果を披露しました。中でも「あいの里カンフーキッズ」による演舞は子どもたちのきびきびとした動きに大歓声が上がりました。また、リフレッシュ体



ステージ発表会の様子

操はみんなで足踏み体操等をするので出演者と観客が一体となり会場の和気あいあいとした雰囲気印象的でした。最後は、あいの里東中学校合唱部の混声合唱の素晴らしい歌声が披露され、たくさんの方に感動を与え拍手喝采で幕を閉じました。

この日は予想を上回る約750名が来場し活気溢れる催しとなりました。

★ホール展示

10月27日(金)～29日(日)の3日間は、拓北・あいの里地区センター多目的ホール内で作品展示会を開催しました。来場者は、

写真・ちぎり絵・書道・水彩画などの力作をひとつひとつ丁寧に鑑賞されていました。中には、出展者の話に熱心に耳を傾けている方や、自分もこのサークルに入りたいと意欲的な方も見受けられました。

広い会場全体に各作品が飾られ文字通り芸術の秋。素晴らしい作品の数々に包まれた華やかな催しでした。



ホール展示の様子

あいの里の樹木を

安心・安全なものに

(環境部樹木検討委員会)

あいの里西公園のボランティアによる下枝払い&ベンチのペンキ塗り作業

9月25日(月)あいの里西公園の南側広場に集合し、長尾連町会長の挨拶後、作業の注意事項の説明があり総勢22名で下枝払い班・ペンキ塗り班に分かれ作業を開始しました。

作業内容は人の高さまでの下枝払いと10か所以上のベンチのペンキ塗りを実施。作業を始めると時間も忘れるぐらいに没頭してしました。昼食後、1時間程度作業を行い、今年度の予定箇所は終了しました。誰一人ケガもなく公園内は見通しの良いものになりました。来年度は北公園周辺の作業を計画したいと思います。

来年度の伐採作業地区

(予定)

・あいの里循環通り教育大正門から東側へ、あいの里公園まで

- ・あいの里北公園から、せらぎ緑道東側
- ・あいの里3条7丁目から8丁目の東小学校側
- ・あいの里3条8丁目と9丁目の間の道路両側
- ・茨戸福移通り(拓北8条3・4丁目)
- ・あいの里1条3丁目から1条7丁目までの鉄道林の補植

以上を予定しています。

【茨戸福移通りの作業前と作業後の様子】



作業前



作業後

第8回たくあいキャンドルナイト開催

拓北・あいの里地区センター敷地内で1月26日(金)～2月2日(金)、地域住民の皆さんと地区センター職員が連携して行う冬のイベント「たくあいキャンドルナイト」が開催されました。

会場では拓北・あいの里地区で採取された草花を押し花にし、その押し花を装飾した160個のアイスキャンドルと氷板花、そしてたくさんのイルミネーションが雪景色に彩りを与えていました。琥珀色に輝くアイスキャンドルは暖冬で表面が溶けてより一層

透明感が増し、美しく壮観な光景でした。

このイベントは例年開催され広く知れ渡り、区外や市外から訪れる人も年々増えていきます。揺らめく灯りの美しさに、寒さも忘れて足を止めスマホなどで写真撮影を行っている人も大変多く見受けられました。雪深い拓北・あいの里地区の魅力が伝わるイベントでした。



編集後記

☆広報「拓北・あいの里」第81号をお届けします。掲載記事の関係から発行が3週間遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

☆2月の臨時総会で組織の改編などの会則・規程の改正が議論され、原案通り可決されました。併せて、当地区喫緊の課題「医療大病院移転」に関わる説明会も行われ、現状や課題を共有しました。

☆広報誌は次年度も年2回(9月・3月)の発行を予定していますが、編集委員が力を合わせ、地域の情報発信に努めてまいります。引き続きご愛読ください。

スペースの都合から「町内会の取り組み・地域探訪」は休載とさせていただきますのでご了承ください。

編集委員

- 三谷 英男 (広報部長)
- 大坂 登 木村 聡
- 田中 斉 吉野 治美